

「リズムダンス」 (7時間扱い)

授業者 溝口 仁志

1. << 単元について >>

目標： フェアプレイ（全力・ルール順守・相手尊重・安全第一）で、リズムによって即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊るとともに、リズムにあった動きや新たな動きを考え、友達の動きを自分の踊りに生かしたりしながら、工夫して踊りを楽しむことができるようにする。

リズムによって踊る楽しさを十分に味わえるように単元を構想する。単元序盤は教師がリードし、楽しい雰囲気の中で踊ることができるようにする。また、少人数（2～7人程度）で友達と一緒に踊る学習形態により、友達に踊りを見られることに慣れ、友達と踊る楽しさを感じさせながら学習を展開していく。

単元中盤では、リズムにあった動きや新たな動きを見つけることを目指す。その際も動きを止めて振りをじっくりと考えるよりも、リズムに合わせて踊りながら、即興的に出てきた表現を大切にしていく。振り返りでは、新しい踊りを紹介し合い、その踊りをみんなで踊ることで、リズムによって踊る楽しさや新たな動きなどを実感できるようにする。また、学習カードから子供の課題意識、学習への思いや願いなどを把握し、子供にとって必要感のある学びを展開していく。

そして、単元終末にはダンスパーティーの活動を位置付ける。これは、積み重ねてきた学習成果を生かし、チームで踊りを披露し合う活動である。ダンスパーティーでは披露するチームの踊りを単に見るのではなく、まねして一緒に踊ることで、そのチームの踊りのよさを実感させるとともに、踊る楽しさや学習の成果を実感できる場としていく。

2. << 体育科における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力 >>

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
第三四学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種の運動を楽しく行うための、基本的な動きや技能。 ○ 各種の運動を安全に行う基本的な知識。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動の楽しさに触れたり、動きや技能を身に付けたり体力を養ったりすることに向けて、動き方・運動する場・練習の仕方などを工夫する力。 ○ 運動する中で生じた課題や、仲間の学びのよさなどを言葉や動作等で表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ きまりを守り、勝敗を受け入れるとともに、安全を確かめ、仲間と学びのよさを認め合いながら運動する態度。 ○ 学習課題の達成に向かって最後までやり遂げる態度。

3. << 育成すべき資質・能力を踏まえた単元の評価規準 >>

個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか) 評価1	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか) 評価2	学びに向かう力、人間性等情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか) 評価3
<ul style="list-style-type: none"> ○ 軽快なリズムによって、全身で弾んで踊ったり、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 踊りの楽しさを味わうために、自分のめあてをもち、それに向けて動き方や活動を工夫している。 ○ リズムに合った動きや新たな動きを考え、みんなに伝えたり、友達の動きを自分の踊りに生かそうとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ フェアプレイ（全力・ルール順守・仲間尊重・安全第一）を意識して、進んでリズムダンスに取り組もうとしている。 ○ 友達と踊ることの楽しさを感じ、友達と認め合い、アドバイスをしながら活動している。

4. 《研究とのかかわり》

「三つの視点」を生かしたアクティブ・ラーニングの具体を以下に示す。子供が学びの連続性、必要性、関連性を自覚しながら学ぶことができるよう「学びの文脈がある単元を構想する」。その中に「必要感のある協同的な学びの設定」と「目的に応じた弾力的な振り返りの設定」を位置付ける。

(1) 学びの文脈がある単元を構想する ～単元のグランドデザイン～

必要感のある協同的な学び

目的に応じた弾力的な振り返り

	単元開始期	単元展開期①		単元展開期②			単元まとめ期
	1	2	3	4	5	6【本時】	7
課題	学習の見通しをもち、曲のリズムに合わせ、先生の動きや指示をもとに踊ってみよう。	ペアやチームで、色々なリズムに合わせ、即興的な動きや、よい動きを組み合わせながら踊ってみよう。色々な動きを見つけよう。		チームで、学んだ動きを生かし練習し、チームダンス交流をしよう。			「ダンスパーティー」で交流し、学んだことを振り返ろう。
開始期	○オリエンテーション ・ねらい ・学習の流れ(学び方)	○ 前時の振り返りや子供との話し合いにより課題設定する。		○ 前時の振り返りや子供との話し合いにより課題設定する。			○ 課題設定をする
展開期	・準備するもの ・学習カード ・学習のマナー などを確認する	○ 色々なリズムに合わせて即興的に踊る。 ・ペアを組みダンス。 ・ペアを合体してダンス。 ・踊りたい人とダンス。		○ チームでダンスをつくる。 ・学んだ動きを生かす。 ・新たな動きを見付ける。 ○ ダンス交流 ・2チームでダンスを交流する。			○ 各チームのダンスを全員でまねして踊る。
まとめ期	○リズム取り ○先生のものまねダンス ○グー・チョキ・パーダンス ○振り返り	○振り返り ・友達に紹介したい新しい動きを紹介する。 →みんなで踊ってみる。 ・学習カードを記入する。					○単元の振り返り ・学習成果や友達の学びのよさを認め合う。

(2) 必要感のある協同的な学びを設定する

- 少人数で一緒に踊ることで、踊りに対する恥ずかしさを緩和する。
- 少人数で一緒に踊ることで、多様な動きを見つけ、その動きを自分の踊りに取り入れることができるようにする。
- ダンス交流では、チームの踊りを単に見るのではなく、まねして一緒に踊ることで、多様な踊りに触れ、そのよさを実感できるようにする。
- まねして一緒に踊ることで、友達と一緒に踊る楽しさを感じることができるようにする。



(3) 目的に応じて振り返りを弾力的に設定する

- 学習カードを活用し、子供が成果や次のめあてを明確にできるようにするとともに、学習カードから子供の課題意識、学習への思いや願いなどを把握し、必要感のある学びを展開する。
- 毎時間「今日のMVP」を友達の中から見つけ、学習カードに記入することで、友達のよさを認め合えるようにする。
- 学習カードの記述を一覧表にまとめ、子供に配付することで、友達のめあて、学習成果、友達のよさを共通理解する。
- 振り返り場面では、新しい踊りを紹介し合い、その踊りをみんなで踊ることで、リズムのって踊る楽しさや動きの広がりなどを実感できるようにする。
- 撮影した動画を見る場を設定し、自分の踊りを客観的に見ることで、成果や課題が実感できるようにする。

5. 《 単元計画 》

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>開始期 (1時間目)</p>	<p>【1時間目】</p> <p>○ 学習の課題や進め方を知る。</p> <p>課題：学習の目標と学び方を理解して見通しをもとう。</p> <p>ダンス楽しみ！早く踊りたい。</p> <p>ダンスは恥ずかしいなあ。</p> <p>どんな曲で踊るのかな？</p> <p>みんながフェアプレイで踊れば大丈夫かな…。</p>	<p>◇ 意欲を高め、見通しをもって参加しようとしている。^{【評価3】}</p> <p>☆ 事前アンケートをもとに、学習計画や学習のマナーを伝える。</p> <p>☆ 自主的に学習を進められるよう、用具の準備や学習の流れ、学習カードや学習資料の活用の仕方を説明する。</p> <p>☆ 踊ることが恥ずかしいと感じている友達がいることを提示し、みんなが楽しめるダンスの学習のためのマナーを意識できるようにする。</p>
	<p>○ 楽曲を聞き、体を動かしながらリズムをつかむ。</p> <p>首でリズムをとってみよう。</p> <p>ヘソでリズムをとるのが大切なんだって。</p> <p>○ 課題を理解する。</p> <p>課題：先生の動きをまねして、リズムにのって踊ってみよう。</p> <p>先生のマネをすればいいんだね。</p> <p>できるかな？不安だな。</p> <p>○ リズムの違う曲で教師の動きをまねして踊ってみる。</p> <p>先生のマネをするのおもしろいな。</p> <p>先生のマネならできそうだ。</p> <p>○ 3つの動きを決めて踊ってみる。</p> <p>「グー」のときはジャンプすればいいんだね。</p> <p>「チョキ」のときはサイドステップか。</p> <p>自分たちで動きを決めて踊ってみたい。</p> <p>○ 学習を振り返り、学習カードを書く。</p> <p>思ったよりも楽しかった。ペアで踊れば恥ずかしくないよ。</p> <p>もっと動きをふやした方が楽しそう。自分たちで動きを考えたい。</p>	<p>☆ リズムにのる楽しさが味わえるよう、簡単なリズム遊びから活動をスタートする。</p> <p>・首・ヘソ・手・足踏み ・ジャンプ・サイドステップ など</p> <p>☆ どう動いてよいかわからない子供のために、教師の動きをまねする活動を取り入れる。</p> <p>◇ フェアプレイ (全力・ルール順守・仲間尊重・安全第一) を意識して、進んでリズムダンスに取り組もうとしている。^{【評価3】}</p> <p>☆ 子供の動きを活性化するように、意欲的に体を動かしている子やリズムにのっている子を賞賛する。</p> <p>☆ 即興的に踊ることができるよう、教師の指示に応じて動きを変えて踊る「グー・チョキ・パー」ダンスを取り入れる。</p> <p>グー「ジャンプ」 チョキ「サイドステップ」 パー「手をたたく」など動きを決めて踊る。</p> <p>◇ めあてを振り返り、学習の成果や課題を明らかにしている。^{【評価2】}</p> <p>☆ <u>子供の気付きや課題意識を捉えるために、学習カードに記述する場を設定する。(※毎時間行う)</u> <u>【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p>
<p>展開期① (2～3時間目)</p>	<p>【2時間目】</p> <p>○ 前の時間の振り返りを生かし課題を設定する。</p> <p>自由にペアやチームを組んで踊ろうよ。</p> <p>もっと自由に踊りたい。</p> <p>課題：ペアやチームでダンスをして、新しい動きを見つけよう。</p> <p>○ ペア・チームで踊りながら、動きをふやす。</p> <p>ジャンプは同じでも手の動きを変えてみたらどうかかな？</p> <p>動物やスポーツの動きをダンスに取り入れてみたよ。</p> <p>新しい動きをふやすのは楽しいけど難しい。</p> <p>みんなはどんな新しい動きを考えたのかな？</p> <p>○ 新しい動きを交流する。</p> <p>僕たちはペアでハイタッチをする動きを考えました。</p> <p>同じ動きでもスピードを変えてみました。</p> <p>○ 学習カードを記入する</p>	<p>☆ 前の学びが生かされ、子供の必要感のある学びを大切にするために、振り返りの内容から本時の課題設定を行う。<u>【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p> <p>◇ 軽快なリズムにのって、全身で弾んで踊ったり、即興的な表現で踊ったりすることができる。^{【評価1】}</p> <p>☆ 踊りの抵抗感を少なくし、友達の動きを取り入れながら新たな動きが生まれるよう、少人数で踊る活動を取り入れる。<u>【必要感のある協同的な学び】</u></p> <p>☆ 模倣 (ものまね)・かけ合い・シンクロなど、動きづくりに関わるポイントを引き出すことができるよう、上記の視点をもって新しい動きを具体的に評価する。<u>【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p> <p>◇ めあてを振り返り、学習の成果や課題を明らかにしている。^{【評価2】}</p> <p>☆ <u>成果や課題が実感できるよう、撮影した動画を見る場を設定する。【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p>
	<p>【3時間目】</p> <p>○ 振り返りを生かし課題を設定する。</p> <p>自由にチームを組んで踊ろうよ。</p> <p>グー・チョキ・パーじゃなくてもっと自由に踊りたい。</p> <p>○ 新しい動きづくりの視点 (スパイス) を知る</p> <p>課題：踊りの「スパイス」を生かし、ペアやチームで踊りながら、新しい動きを見つけよう。</p>	<p>☆ 前の学びが生かされ、子供の必要感のある学びを大切にするために、振り返りの内容から本時の課題設定を行う。<u>【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p> <p>☆ 学習カードの記述や振り返りの話題を生かし、スパイス (動きづくりの視点) を提示する。</p>

<p>展開期① (2~3時間目)</p>	<p>踊りの「スパイス」(踊りづくりの視点) 「ストップモーション」「テンポアップ」「移動(前後・左右)」「カクカク」「ゆらゆら」「かけ合い」「ジャンプ」「すり足」「フィニッシュポーズ」「ジャンプ」「ステップ」「ものまね」「ずらし」「いっせい」</p> <p>○ ペア・チームで踊りながら、動きをふやす。</p> <p>足を開いたり閉じたりするステップをやってみよう。</p> <p>「ものまね」のスパイスを使って踊ってみようかな。</p> <p>○ 新しい動きを交流する。</p> <p>そのステップいいね。私もまねしよう。</p> <p>新しい動きを増やすのは楽しいけど難しい。</p> <p>○ 学習カードを書く。</p> <p>他の曲でも踊ってみたい。</p> <p>もっとみんなで踊ってみたいな。</p> <p>【4・5・6時間目】</p> <p>○ 振り返りを生かし課題を設定する。</p> <p>自分たちのお気に入りの曲で踊りたい。</p> <p>チームでダンス交流をしたい。</p> <p>課題： チームで「スパイス」を生かして、踊りながらダンスを考え、交流しよう。</p> <p>○ チームダンスに取り組む。</p> <p>このリズムはこんな動きがぴったりだよ!</p> <p>「かけ合い」と「シンクロ」をバランスよく入れた踊りにしよう</p> <p>○ 2チームで互いのダンスを見合う。(見ているチームはものまねダンス)</p> <p>他のチームダンスが楽しみ。どんなダンスかな?</p> <p>あの動きすごい!まねしたい。</p> <p>○ 新しい動きの交流をする。</p> <p>あのチームのストップモーションを生かしたダンスすごい!</p> <p>他のチームのダンスをまねして踊るのもとても楽しいな。</p> <p>○ 学習カードを書く。</p> <p>最後の学習ではみんなでいっぱい踊りたいな。</p> <p>今までの動きを生かしてみんなでダンスを楽しみたい。</p>	<p>◇ 軽快なリズムにのって、全身で弾んで踊ったり、即興的な表現で踊ったりすることができる。</p> <p>【評価1】</p> <p>★ 動きづくりで困っている子供には、具体的に一つの「スパイス」を示し、一緒に踊ってみることで、「スパイス」の生かし方のイメージをつかめるようにする。</p> <p>★ <u>新たな動きの共有化を図るために、動きを交流する場面を設定する。【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p> <p>◇ めあてを振り返り、学習の成果や課題を明らかにしている。</p> <p>【評価2】</p> <p>★ <u>子供の気付きや課題意識を捉えるために、学習カードに記述する場を設定する。(※毎時間行う)【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p> <p>★ <u>成果や課題が実感できるように、撮影した動画を見る場を設定する。【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p>
<p>本時</p> <p>展開期② (4~6時間目)</p>	<p>【7時間目】</p> <p>○ 振り返りを生かし課題を設定する。</p> <p>課題： 学習したことを生かして、「ダンスパーティー」を楽しもう。</p> <p>○ 「ダンスパーティー」をする。(発表するチームのダンスをみんなでまねして踊る。)</p> <p>僕たちのダンスをみんなに踊ってもらおう!</p> <p>この動きいいね!リズムにもりやすい。</p> <p>○ 色々なリズムの曲に合わせて自由に踊る</p> <p>サンバの早いリズムで踊るのが好き。</p> <p>みんな笑顔で踊っているね。ダンス最高。</p> <p>○ ダンスの学習の感想を交流し、学習カードを書く</p> <p>最初は恥ずかしいと感じていたけど、みんなで踊っていたらダンスが大好きになった。</p> <p>みんなで認め合ってダンスができたのでよかった。桐の子スポーツ祭のパフォーマンスにも生かせそう。</p>	<p>★ 前の学びが生かされ、子供の必要感のある学びを大切にするために、振り返りの内容から本時の課題設定を行う。【目的に応じた弾力的な振り返り】</p> <p>★ チームは、1人1人がメンバーの一員として主体的に学べるよう、自由に4~7人のメンバーで構成する。</p> <p>◇ 動きづくりの視点を生かし、リズムに合った動きや新たな動きを考えて踊ったり、友達の動きを自分の踊りに生かそうとしたりするなど活動を工夫している。</p> <p>【評価2】</p> <p>★ <u>学習の成果や他のチームのよさを実感できるように互いに発表する場を設定する。その際、一緒に踊ることで、協同的に学ぶ意識を高め踊る楽しさを感じることができるようにする。【必要感のある協同的な学び】</u></p> <p>★ <u>踊りを通して一体感が生まれることが感じられるよう、一つのチームの踊りを全チームで真似する場を設定する。【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p> <p>◇ めあてを振り返り、学習の成果や課題を明らかにしている。</p> <p>【評価2】</p>
<p>まとめ期 (7時間)</p>	<p>【7時間目】</p> <p>○ 振り返りを生かし課題を設定する。</p> <p>課題： 学習したことを生かして、「ダンスパーティー」を楽しもう。</p> <p>○ 「ダンスパーティー」をする。(発表するチームのダンスをみんなでまねして踊る。)</p> <p>僕たちのダンスをみんなに踊ってもらおう!</p> <p>この動きいいね!リズムにもりやすい。</p> <p>○ 色々なリズムの曲に合わせて自由に踊る</p> <p>サンバの早いリズムで踊るのが好き。</p> <p>みんな笑顔で踊っているね。ダンス最高。</p> <p>○ ダンスの学習の感想を交流し、学習カードを書く</p> <p>最初は恥ずかしいと感じていたけど、みんなで踊っていたらダンスが大好きになった。</p> <p>みんなで認め合ってダンスができたのでよかった。桐の子スポーツ祭のパフォーマンスにも生かせそう。</p>	<p>★ 学習成果を実感し、踊りの楽しさを味わうことができるよう、学習成果を表現する場を「ダンスパーティー」として設定する。</p> <p>◇ フェアプレイ(全力・ルール順守・仲間尊重・安全第一)を意識して、進んでリズムダンスに取り組もうとしている。</p> <p>【評価3】</p> <p>★ <u>学習の成果や他のチームのよさを実感できるように、発表する場を設定する。その際、全員が一緒に踊ることで、一体感を高め、踊る楽しさを感じることができるようにする。【必要感のある協同的な学び】</u></p> <p>★ 1人1人がリズムにのって踊る楽しさを感じることができるよう、自由に踊る場を設定する。</p> <p>◇ 単元を振り返り、学習の成果や課題を明らかにしている。</p> <p>【評価2】</p> <p>★ <u>単元序盤から今の自分の成長を感じることができるよう、子供の変容の姿を具体的に紹介し、価値付ける。【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p>

6. 《本時案》(本時 6/7)

本時の目標

動きづくりの視点を生かし、リズムに合った動きや新たな動きを考え、友達の動きを自分の踊りに生かそうとするなど、工夫して踊りを楽しむことができるようにする。

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期	<ul style="list-style-type: none"> 一曲チームダンスをする。 前時の振り返りや学習カードの記述から課題意識を高める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題 (ねらい) チームで「スパイス」を生かして、踊りながらダンスを考え、交流しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ダンスの学習に向け、心と体を解放できるよう、踊る場を設定する。 ☆ <u>これまでの学びが生かされ、子供の必要感のある学びを大切にするために、振り返りの内容から本時の課題設定を行う。</u> 【目的に応じた弾力的な振り返り】
展開期	<ul style="list-style-type: none"> チームダンスに取り組む。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>このリズムのはこんな動きがぴったりだよ!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「かけ合い」と「シンクロ」をバランスよく入れた踊りにしよう。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>あのチームのストップモーションを僕たちも取り入れよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>この曲には「かけ合い」がばっちり合うよ!</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>踊りの「スパイス」例 (踊りづくりの視点) 「ストップモーション」「テンポアップ」「移動 (前後・左右)」「カクカク」「ゆらゆら」「かけ合い」「ジャンプ」「すり足」「フィニッシュポーズ」「ジャンプ」「ステップ」「ものまね」「ずらし」「いっせい」など子供の学びの成果から生み出したり教師からの提示したもの。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 2チームで互いのダンスを見合う。(見ているチームはものまねダンス) <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>他のチームのダンスが楽しみなね。どんなダンスなのかな?</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>あの動きすごい!まねしたい。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>相手チームも、まねして踊ってくれてるからうれしい!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「かけ合い」スパイスをうまく取り入れているね。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 動きづくりの視点を生かし、リズムに合った動きや新たな動きを考えて踊ったり、友達の動きを自分の踊りに生かそうとしたりするなど活動を工夫している。<u>評価②</u> ☆ 動きづくりに困っているチームには、具体的な「スパイス」を提示し、一緒に動きを考え、動きづくりのイメージをもつことができるようにする。 ☆ 踊りにメリハリがつくように、ソロ・シンクロ・かけ合い・スタートポーズ・フィニッシュポーズの「スパイス」を中心に意識付けを図る。 ☆ <u>学習の成果や他のチームのよさを実感できるよう、相互に発表する場を設定する。その際、一緒に踊ることで、協同的に学ぶ意識を高め踊る楽しさを感じることができるようにする。【必要感のある協同的な学び】</u> ☆ 踊りを通して一体感が生まれることが感じられるよう、一つのチームの踊りを全チームで真似する場を設定する。
まとめ期	<ul style="list-style-type: none"> 新しい動きの交流をする。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>あのチームのストップモーションを生かしたダンスすごい!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>他のチームのダンスをまねして踊るのもとても楽しいな。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> 学習カードを書く。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>最後の学習ではみんなであいっばい踊りたいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>今までの動きを生かしてみんなでダンスを楽しみたい。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ <u>互いの学びのよさを認め合い、新たな動きの共有化を図るために、動きを交流する場面を設定する。【目的に応じた弾力的な振り返り】</u> ◇ めあてを振り返り、学習の成果や課題を明らかにしている。<u>評価②</u> ☆ <u>子供の気付きや課題意識を捉えるために、学習カードに記述する場を設定する。</u> 【目的に応じた弾力的な振り返り】